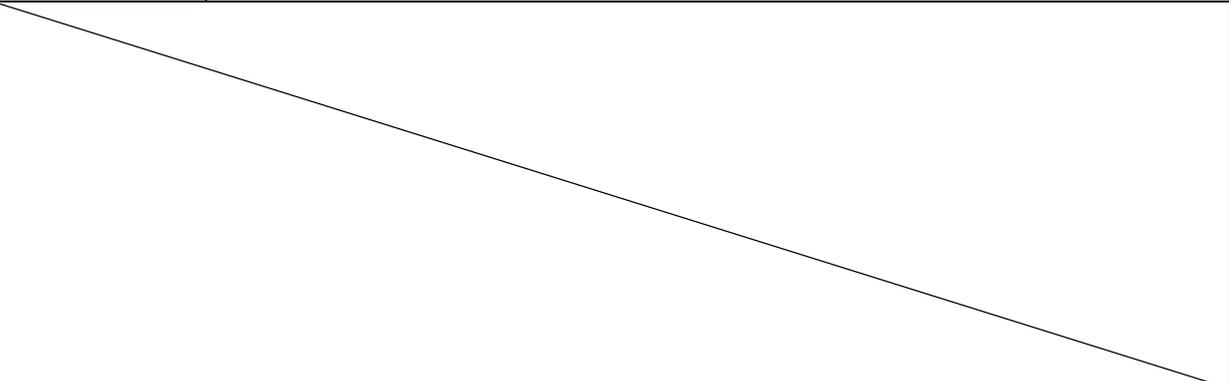


## 維持管理に関する相談事例

作成日	平成 26 年 3 月 4 日
番号	02
タイトル	「港湾の施設の維持管理技術マニュアル」の点検診断に対する工学的背景および必要性
キーワード	港湾の施設の維持管理技術マニュアル、点検診断内容、点検診断頻度、点検診断範囲
内容	<p>①「港湾の施設の維持管理技術マニュアル」(以下、マニュアル)の点検診断はどのような工学的な背景から設定されているか提示してほしい。</p> <p>②マニュアルに記載された点検内容・頻度は全て必要か、またなぜ必要なのか提示してほしい。</p>
	添付資料等の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有
回答	<p>「港湾の施設の維持管理技術マニュアル」における点検頻度および点検範囲等は、厳密な技術的判断に基づいて設定された頻度・範囲ではなく、これまでの知見に基づいた基本的な頻度および範囲等を記載している。これは、当該マニュアルが国内の広範な地域の港湾施設に適用されることを想定して作成されたためである。(マニュアル第1編1章総説)</p> <p>点検内容・頻度は管理する施設の規模や施設・部位の維持管理レベル、また必要とされる点検コストを踏まえて設定することとなるが、点検内容・頻度の減少にリスクが伴う可能性があることに対する理解を徹底する必要がある。ただし、毎回の点検診断時に同一の項目・範囲・数量の点検を行うのではなく、例えば点検対象部位に変状が確認された場合は全量点検を行ったり、可能な範囲で全量の目視点検を行う回を設ける(例えば、施設順あるいは部材順など)などの工夫を施すとよい。</p> <p>施設の管理責任を十分に果たすためには、施設の劣化・変状状態の全体像を把握することが必要である。(マニュアル第2編1章総説、第4編1章総説)</p>
	添付資料等の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有
回答後の対応	
	添付資料等の有無 <input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有